

クラウン・レポート

CROWN

report
2025

クラウン・パッケージ
サステナビリティ報告書
2025

社会とつながる、
未来へひろがる。





B.LEAGUE所属 プロバスケットボールチーム

「シーホース三河」の ゲームスポンサーとして 地域活性化を支援

「シーホース三河」の試合で、今年で実施3年目となるペリットラミトレの提供を行いました。ゲームスポンサーとしてのアピールだけではなく、アリーナの外で一緒にトレの分別体験を行うことで地域の皆様に当社のことを認知いただけました。

女子プロサッカーリーグ WEリーグ所属クラブ



「ちふれASエルフェン埼玉」と クラブパートナー契約を締結

当社は、WEリーグに所属する地元の女子サッカークラブ「ちふれASエルフェン埼玉」とクラブパートナー契約を締結しました。サポーターの皆様と一緒にチムを応援します。

「クインシーズ刈谷」と オフィシャルパートナー契約

当社は、愛知県刈谷市を拠点として活動する、SVリーグ所属の女子バレーチーム「クインシーズ刈谷」とオフィシャルパートナー契約を締結しました。

バレーボール国内トップリーグ SVリーグ所属女子チーム



「TOKYO PACK 2024」に出展

パーム油を搾油した後に残る「ヤシカサ」をパルプ化し、原料とした紙製パッケージやモールド容器のご提案を行いました。未利用資源を有効活用し木材の節約に貢献するパッケージです。



2024

クラウン NEWS



名古屋市のキャリア教育 「探求学習」で講義

名古屋市内の小学4年生を対象に「地球環境を守る、自分たちにできること」をテーマとした講義を行いました。子どもたちからもたくさんの質問をいただき、興味や関心の高さを実感しました。

目次

1 クラウンNEWS

3 地域発トピックス

5 クラウングループの紹介

7 わたしたちのこだわり

11 トップコミットメント

12 CSRに対する考え方

13 環境に関わる活動

15 社会に関わる活動

18 企業統治に関わる活動



「ファッションワールド東京」に初出展

展示会ではアパレル業界をターゲットに、Tシャツ用のディスプレイ箱「TシャツBOOK」をご提案。吊り下げ陳列もでき、蓋を閉じればそのままギフトとして発送することも可能となります。

マレーシア盆踊り大会の屋台に容器を提供

マレーシアの首都クアラルンプールにて開催された盆踊り大会の屋台で、NGCP社製のピュアパームモールド容器を使用していただきました。また日本文化を伝えるうちわも提供し、多くの方に喜んでいただきました。



新CMをつくりました

主演はお笑いコンビ「ライス」の関町さんです。

皆さんの生活の一部に、そっと寄り添うパッケージメーカーでありたい。そんな思いを込めた新CMです。ぜひ一度ご覧ください。

新CMはこちらから
ご覧いただけます



ホームページ リニューアル

新たにサステナビリティ情報を追加し、デザインも一新しました。より多くの方に興味を持っていただける内容をめざして、コンテンツの充実と情報の発信を行ってまいります。

CSR研修会実施による サステナビリティの社内浸透

他社のCSR事例を学ぶ研修会を実施しました。訪問先で一人ひとりが持続可能な社会に対する意識を高く持ち、社会に貢献している姿を見て、今後の活動のヒントを得ることができました。



デジタル印刷機の導入

埼玉事業所にデジタル印刷機を導入しました。7色による多彩な表現が可能で、印刷版が不要なためテストマーケティングや季節・イベントの限定商品に最適です。イニシャルコスト削減のご提案ができます。

編集方針

本レポートは、お客様やお取引先様、従業員を含む幅広いステークホルダーの皆様へ、クラウン・パッケージのビジョンやサステナビリティについての取り組み状況をわかりやすくお伝えすることを目的に発行しました。

対象範囲 株式会社クラウン・パッケージ

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日
(2024年度の実績を中心に一部本期間前後の情報を含め報告しています)

発行月 2025年10月

次回発行予定 2026年10月

2024

地域発 トピックス

6

名古屋 事業所

私のSDGs宣言

パート従業員や外国人技能実習生含め、従業員全員でSDGsの個人目標を作成し、掲示しました。一人ひとりが貢献できる事を考えたことで、社会貢献への関心が高まりました。



7

大阪 事業所

職場環境DIYプロジェクト

DIYに興味がある従業員たちが有志で集まって明るい雰囲気の休憩室へとリニューアルしました。日頃は異なる部署で働いているメンバーが垣根を越えて意見を出し合い、明るい雰囲気の休憩室を完成させ、ほかの従業員にも好評です。



8

8

九州 事業所

「国民スポーツ大会SAGA2024」で 応援グッズを提供

佐賀県で開催された国民スポーツ大会の自転車競技で使用する応援グッズ(ハリセン)を提供しました。当日は地元の幼稚園児たちがハリセンをたたきながら大きな声で応援していました。



5

岐阜 事業所

幼稚園へカラー原紙を提供

使用しなくなったカラー原紙を、工作や装飾に使ってもらえるよう、地元の幼稚園に提供しました。この活動を通じて、展示会への招待や地域の情報共有など交流が深まりました。



7





1

仙台事業所

外国人技能実習生の寮を リニューアル

外国人技能実習生の雇用拡大や生活環境の向上のために実習生寮を新築しました。プライバシーや安全・衛生面へ配慮し、ストレスフリーな住環境となりました。

1

2

埼玉事業所

「飯能新緑ツーデーマーチ」の 運営ボランティア

飯能市主催のウォーキングイベントに、工業団地の一員として参加しました。冷たい飲み物や疲労回復用のお菓子を配布する接待所も運営し、参加者や地域の方との交流を深めました。



今年のヤギの名前は…



「カービィ」「ニモ」「はんぺ」
「ニクマン」「うい」

埼玉事業所の雑草をきれいに食べてくれるヤギの5匹です。例年新入社員が名付け親となり、ヤギたちの個性を反映した名前をつけています。

おまけ



Well-being

(ウェルビーイング)とは…

心身の健康だけでなく、社会的な面も含め満たされた「良い状態」のこと。ウェルビーイングの向上を図ることで、一人ひとりが幸福を実感し、自分らしい人生を送れる社会を築くにつながります。

4

神奈川事業所

「WELL-BEING TECHNOLOGY」 展示会参加

近年注目されているWell-beingを実現する製品や技術に関する展示会に初出店しました。環境配慮型パッケージを中心に紹介し、多くのお客様と接点をつくることができました。

3

東京事業所

初収穫＆「豆フェス」の開催

東京事業所では、クラウン工園が開園して1年が経ちました。初めての収穫を迎え、採れたての枝豆を味わいながら、工園メンバーとの交流を深める「豆フェス」を開催しました。フェスの前日には、工場の従業員も収穫作業を手伝い、クラウン工園への理解も深まりました。



クラウングループの紹介

クラウン・パッケージの企業使命である「新しいパッケージ文化の創造」を実現するのは“ひと”です。

ひとに寄り添い、つながりを深めていった結果がクラウングループです。

それぞれの個性を活かし、地域とともに輝いてまいります。

想いを包み、笑顔を伝え、心を結ぶ

株式会社包む

会社概要 1984年に株式会社クラウン・パッケージの第三事業部として発足し、翌1985年に法人として分社化。以後、ギフトラッピングに関連する商品やサービスを企画開発し、現在は年間600種ほどの新商品を発売しています。販路は雑貨店や量販店、100円ショップなど幅広く展開中です。



当社は全国配送の物流センターを有し、紙・段ボール・ビニール・不織布・帆布などの幅広い素材とグラフィックデザインによってさまざまな商品を企画しており、クラウン・パッケージとのコラボ商品も多数あります。今後も時代の変化に合ったスピード感で、チャレンジを続けていきます。

社長執行役員 東 賢治



確かな技術と豊かな設備でニーズに応え続ける

株式会社オカモト紙工

会社概要 金沢で51年の歴史を持ち、観光土産品から医薬部外品まで幅広いパッケージを製造しています。3年前の資本提携でクラウングループの一員となりました。



照明LED化や営業車のハイブリッド化、空調・コンプレッサー更新など、社内の省エネ整備に取り組んでまいりました。今期からは町内会に入会し、全社員で工場周辺の清掃活動を実施しています。地域をはじめ、社会貢献に目を向けた経営を心がけてまいります。

社長執行役員 夫馬 健吾





チャレンジし続ける総合物流企業

株式会社コダマサービス

会社概要 従業員270名、保有車両180台を抱え、営業拠点は全国13カ所、倉庫は3カ所(3500坪)に広がる、チャレンジし続ける総合物流企業です。貨物の運送にとどまらず、3PLの関係へと変革する倉庫事業部や、損害保険を扱う保険事業部など、さまざまなサービスでお客様へ満足を提供します。



コダマサービスは物流部門として、ヒューマンエコースは人材支援として、クラウングループの一翼を担っていますが、地域の他企業様との取引も増えてきています。コダマサービスでは、働きやすい職場環境の整備を進め、従業員の健康増進の方策イベントを実施中です。

社長執行役員
横井 祐次



地域密着でニーズにお応え

株式会社ヒューマンエコース

会社概要 労働者派遣事業許可(派21-300171)や、有料職業紹介事業許可(21-ユ-300093)を有し、製造業務請負など、人と仕事をつなぐ事業を行っています。

パームヤシカサを原料とするパルプモールド製品の製造

NGCP

Nextgreen Crowning Package
Pulp Molding Sdn. Bhd.

会社概要 マレーシア企業との合併企業です。マレーシア国内におけるパームオイル搾油後に残るヤシカサであるEFB(Empty Fruit Bunch)を原料としたパルプモールドを製造しています。廃棄物であるEFBをアップサイクルすることで、環境に配慮したパッケージ製品をつくっています。



クラウングループ初の海外生産拠点として、日々新たな取り組みにチャレンジしています。皆様の助けを借りながら、少しずつ形が整ってきています。文化の違いも楽しみながら、現地スタッフとも一丸となって製品製造に取り組んでまいります。

Managing Director 梶浦 渉





開発

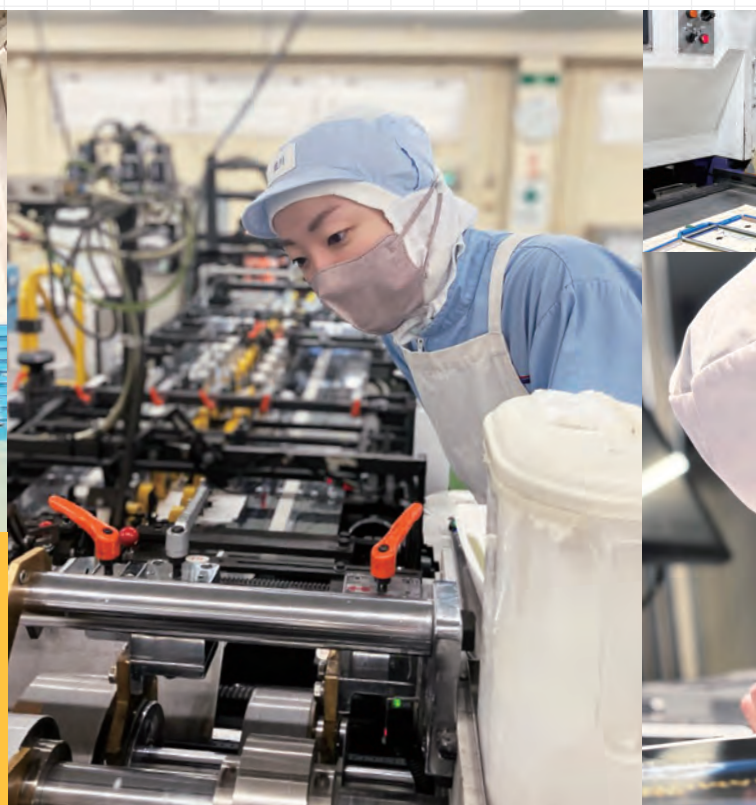


アイデアで
crown class
クラウン級の
パッケージを

素材開発から企画、設計、
にいたるまで、一貫対応で
すべての従業員が、モノ
として創造性を発揮し、
をご提供します。

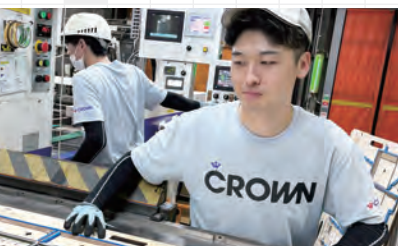
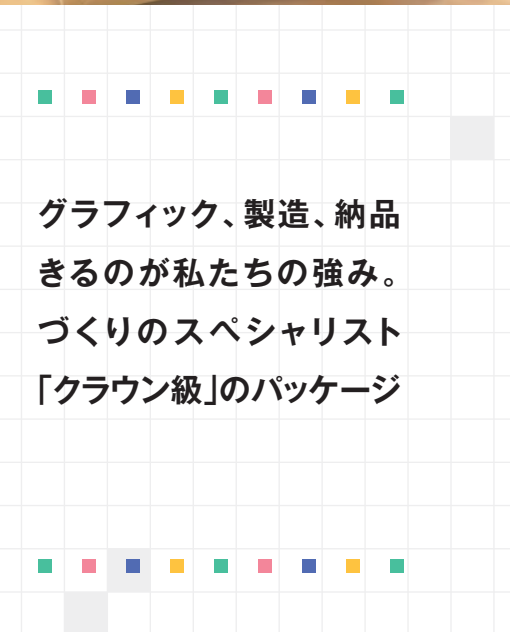


配送





デザイン 設計



material 素材



未来を想う優しさの“素”^{もと}

紙を扱う企業の責任として、森林保全につながるFSC®認証紙や省資源につながる紙素材を取り揃えています。パーム油やブルーベリーの搾りかすをアップサイクルしたスマートパピエや、寄贈された折り鶴を再生したカラフルウィッシュなど、素材にこだわったパッケージで社会課題に取り組めます。



役目を果たした素材をアップサイクル



箱からはじめる社会貢献



剥がして包んで、分別リサイクル

印刷 printing

オリジナリティを表す“印”^{しるし}

新たな選択肢にSD(スーパーデジタル)プリントを加え、グラビア印刷、オフセット印刷、フレキシ印刷や、箔押しなど、多様な印刷方法で、商品の魅力を引き出します。素材との組み合わせで表現力は無限に広がります。



環境負荷の低い水性グラビア7色機



樹脂版を用いた精密なフレキシ印刷



箔押しで高級感をプラス



食べやすさ追及の新スタイル



フィルムレスで簡単に商品固定



簡単開封で販売促進

たくさんの人に寄り添う ^{かたち} “形”

多様な販売方法に合わせて商品保護と販売促進を担う形、より多くの人にとって開けやすい形など、パッケージの形状にはさまざまな機能や役割があります。プラスチック素材に代わる紙パッケージの形や分別廃棄しやすい形を提案するなど、素材だけでなく形状でも社会課題の解決に貢献しています。



形状 ^{shape}



■ 安心・安全

FSSC22000(食品安全マネジメントシステム)やISO14001(環境マネジメントシステム)、ISO9001(品質マネジメントシステム)に基づいた生産管理体制と、長年のお取引で築き上げた、実績と信頼で安心と安全を提供します。

※取得事業所 FSSC22000: 東京、大阪、名古屋、埼玉、九州、仙台
ISO14001: 全事業所
ISO9001: 全事業所

■ 地域とのつながり

より良い社会、街づくりを実践する自治体、企業、地域スポーツチームの皆様の活動に、当社の資源や経験を惜しみなく提供し、協働しています。



■ グローバル

マレーシアにある環境負荷の低い工場でヤシカサパルプを活用したパルプモールド製品を製造しています。段ボールとパルプモールドのコラボレーションで新しいパッケージ文化を創造します。



代表取締役社長
佐光 恵藏

人をつくり、社会課題に寄り添い、 新しいパッケージ文化の創造に邁進します

当社は「あなたの暮らしのすぐそばに」という思いを胸に、社会を支えるパッケージメーカーとして、進化した新しい生産技術の導入とともに、設備や機械の能力を最大限に引き出す“人材”や“アイデア”といった「ソフト力」の強化に注力してまいりました。

日本がバブル景気に沸いていた1980年代から90年代にかけて、当社の売り上げや従業員数は大きく伸びていた一方、従業員の習熟が追いつかず、製造効率が落ちて残業が増えるなどして、離職者が増えるという悪循環に直面していました。当時、この問題を解決するために行ったのが、各製造工程のリーダー候補を集めた「部会」の設置や現場の課題に迅速に対応する「製造監査」の導入です。すると、徐々に離職者が減少し、従業員の成長が品質や生産性の向上に直結する結果となりました。

また、当時の主力商品であった中元・歳暮ギフトは、繁閑差が大きく、経営面・働き方の両面で課題がありました。そのため、思い切って新たな商品分野への転換を決断し、極薄段ボール（マイクロフルート）を用いた食品容器、即陳列可能なバリットボックス、パーム油の搾りかすを活用したパームヤシックスなど、従来の発想を超える製品を生み出してきました。

これらの革新の背景には、環境問題や人口減少といった社会課題に関心を持ち、お客様とともにスピード感を持って解決に

取り組む「ソフト力」があったと確信しています。現在では、各事業所の成功体験やお客様のニーズが社内で共有され、当社の貴重な財産となっています。今後もそれらを社会に還元できるよう、「ソフト力」の最大化をめざすとともに、これまで支えてくださった方々や地域への感謝の気持ちを忘れずに伝えてまいります。

私自身、かつてのアメリカ留学を通じて、先入観や無知が情報や行動を制限し、可能性を狭めてしまうことを学びました。新しい世界に飛び込む好奇心こそが人を成長させ、そこで得た学びが課題解決のヒントとなり、製造業に求められる新たな付加価値を生み出すと信じています。

当社には、仕事を通じて多くの学びと成長の機会があります。従業員一人ひとりがその価値を実感できるようにするとともに、時代の変化に応じて企業に求められる役割も変わっていることを踏まえ、誰もが最大限の力を発揮できる環境づくりに取り組んでまいります。

そしてこれからは、段ボールメーカーとしては稀有なパルプモールド事業との連携を通じて、新たな価値を創出していきます。ステークホルダーの皆様とともに、社会課題に寄り添いながら、新しいパッケージ文化の創造に邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CSRに対する考え方

CSR基本方針

私たちクラウン・パッケージは永遠のベンチャー企業精神を持ち続け、
未来の当たり前をつくることをめざし、あらゆるステークホルダーの皆様から
愛され信頼される企業活動を行います。

- 1 パッケージを通して社会からの期待に応え、
ともに社会課題の解決に取り組めます。
- 2 環境に配慮した事業運営を行い、脱炭素社会、
循環型社会の実現に貢献します。
- 3 人権と多様性を尊重し、誰もがいきいきと働き
活躍できる職場づくりをめざします。
- 4 高い倫理観のもとコンプライアンスを重視し、
公正・公平な企業活動を行います。

CSRビジョン2030とマテリアリティ(重要課題)

マテリアリティとは、CSRに関わる幅広い取り組みのなかで自社の事業活動や社会に与える影響度から判断し、とくに注力すべきものとして特定した課題のことです。当社では、自社にとっての重要度のみならず、各ステークホルダーにとっての重要度を反映してマテリアリティを特定しました。

CSRビジョン2030	マテリアリティ(重要課題)	貢献するSDGs
 環境(E) CO ₂ 総排出量 2018年度比30%削減	▶ 環境に配慮した事業運営 → P13-14へ ▶ 環境配慮型製品の開発・推進 → P14へ	   
 社会(S) 多様性を尊重した人材活用 (ダイバーシティ雇用率30%以上) ^{※1}	▶ 人権の尊重 ▶ 安心して長く働ける職場環境の整備 → P15へ ▶ 多様性を尊重した働き方の推進 ▶ 製品の品質向上と安全性の確保 ▶ 社会課題の解決に寄与する製品の開発と推進 → P16へ ▶ 地域社会との調和と社会貢献活動 → P17へ	     
 企業統治(G) ガバナンスの強化 (コンプライアンス、リスク管理、BCP) ^{※2}	▶ 内部統制と透明性の確保 ▶ コンプライアンスの推進 ▶ リスク管理 → P18へ	 

※1 ダイバーシティ雇用：正規雇用の女性、外国籍の方、障がい者、高齢者（障がい者、高齢者についてはパート、再雇用を含む）が対象。

※2 コンプライアンス：法令遵守だけではなく倫理的な企業活動も含む。

BCP (Business Continuity Plan：事業継続計画)：自然災害、システム障害など、緊急事態が発生した場合でも重要な業務が継続できる方策を立て、事業継続と復旧を図るための計画。



環境に関わる活動

環境に配慮した事業運営

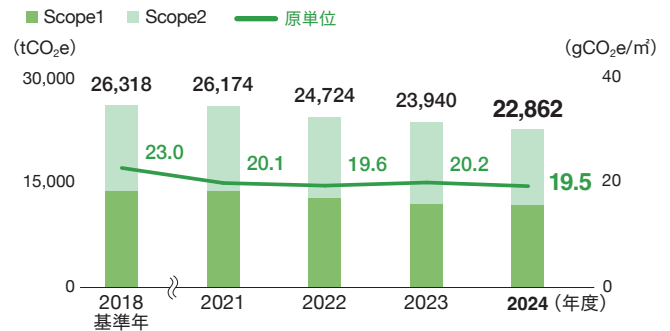
◆ CSRビジョン2030達成に向けて 事業全体でGHG排出量削減を推進

2024年度のCO₂排出量実績は、前年度比で4.5%削減、CSRビジョン2030の基準年度である2018年度比では13.1%削減となりました。

Scope1(直接排出)においては、重油からガスへ燃料転換を進めましたが、すでに切り替えが完了している拠点も多く、前年度比で1.1%削減、2018年度比で15.0%削減となりました。Scope2(エネルギー起源の間接排出)においては、夏に猛暑日が多かった影響もあり活動量(使用量:kWh)が前年度比2.0%増加した一方、一部を再生可能エネルギー由来の電力源に切り替えたことで、CO₂排出量は前年比で7.9%削減、2018年度比で11.0%削減となりました。

2025年度は、さらに省エネ対策を強化し、Scope2におけるCO₂排出量の削減を進めていきます。

CO₂排出量



Scope3の算定について

当社では、Scope1・2の算定に加えて、2021年度よりScope3 (Scope2以外の間接排出) の算定も行っております。当社の場合Scope3の構成比の8割以上をカテゴリ1(購入した製品・サービス) である原紙購入が占めており、排出量削減のため製造ロス率や再製造比率の低減などに取り組んでいます。

◆ 再生可能エネルギーの導入を推進

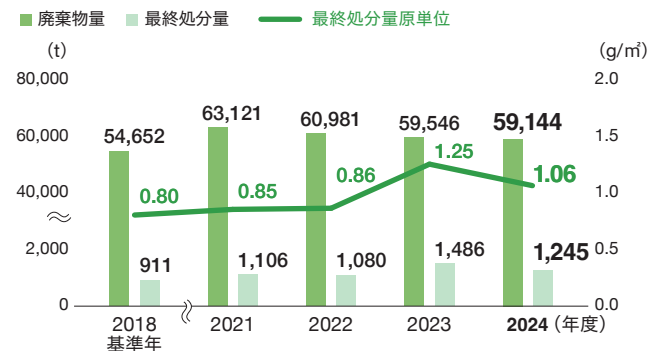
当社は、GHG排出量の削減を進め、将来的な脱炭素社会の実現に貢献すべく、CO₂を排出しないクリーンエネルギーである再生可能エネルギーの導入を積極的に進めています。

2024年度は、全製造拠点の高圧電力について、使用電力の10%を再生可能エネルギー由来の電力源へ切り替えました。今後も引き続き空調設備の効率化や待機電力の削減など、使用電力量およびそれにとまうCO₂排出量の削減を進めていくとともに、2025年度以降も再生可能エネルギー由来電力の比率を引き上げていく計画です。

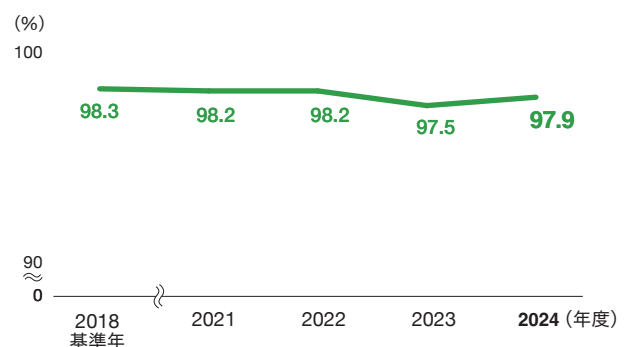


再生可能エネルギーイメージ

廃棄物排出量



リサイクル率



◆ トムソン機(打ち抜き機)の 動力源の集約によるエネルギー効率化

型の打ち抜き工程であるトムソン工程において、主に段ボールシートをプレスへ搬送するための給紙装置の動力源となるドライポンプは、多くのエネルギーを使用します。複数のトムソン機のドライポンプを一つに集約することで、全体の電力消費量を抑えることにつながると同時に、その集約ドライポンプを屋外に設置することで作業場への騒音や放熱問題の解決にもつながりました。



Before 各機械の横に設置



After 複数台分を集約し作業場外に設置

◆ 製造機械ごとの使用電力量の把握

当社は、段ボール製造に使用するコルゲーター、打ち抜き機、グルア機、製函機、オフセット印刷機、フレキソ印刷機、輪転印刷機など、さまざまな機械を備えています。これらの能力もスピードも異なる機械がどの程度の電力を消費しているのかを正確に把握するため、計測器を取り付けて試験を実施しました。今後も引き続き調査を行うとともに、得られたデータを分析することで、より具体的かつ効果的な電力量の削減対策を行っていきます。



機械ごとの使用電力の把握へ向けて

◆ インキディスペンサーの導入で 環境負荷軽減

東京・大阪・埼玉・名古屋事業所では、フレキソ印刷部門にてインキディスペンサーを導入しました。

必要なインキ量が自動供給され特色の調合も可能なため、インキの無駄が削減でき、環境負荷の軽減につながりました。手作業が減るため、省人化と生産性の向上にも貢献しています。計画的に全工場への導入を進めています。



インキディスペンサー

環境配慮型製品の開発・推進

◆ 段ボール製パッケージで プラスチック使用量を削減

当社は、ブリストーパーッケージなど透明のプラスチック素材を使用した包装材の代替品として、商品の正面だけではなく側面も見せて商品の魅力を伝える段ボール製パッケージ「クロスでバック」などの製品をご提案しています。プラスチックは原料の製造時に多くのCO₂を発生します。そのため古紙が原料の段ボールでパッケージをつくることで、製造時のCO₂発生量を低減することが可能となります。

Xクロスでバック

ペコッパック

ウェキコッパック



プラスチック素材不使用のパッケージ



社会に関わる活動

安心して長く働ける職場環境の整備

◆ 外国人技能実習生に 「生活指導講習会」を開催

外国人技能実習生が異国で安心して働くためには、勤務時間以外の生活サポートも大切です。大阪事業所では、地元警察生活安全課の協力を得て、「生活における心構え」に関する講習を実施しました。直近入社の実習生10名が参加し、交通ルールや詐欺への注意、災害時の対応などを学びました。育った国と違うルール、環境に戸惑いながらも、教わった内容を実習生同士で試すなど、不安を安心に変える機会となりました。



講習会の様子

◆ 従業員の家族や友人を対象に 工場見学を実施

名古屋事業所、埼玉事業所では、従業員の家族や関係者を対象とした工場見学を実施しました。普段の仕事ぶりや社内の雰囲気、段ボールの製造工程やパッケージ加工など、当社の事業内容を知っていただく良い機会となっています。

子ども向けに段ボールを使った工作を用意するなど拠点ごとに創意工夫を凝らしており、また、小さい子どもたちを招いても安全な工場にするという観点から、従業員にとっても改めて安全について考える機会になりました。



工場見学の様子

◆ 人が集まる場所へ食堂をリニューアル

神奈川事業所では、従業員の就業環境向上を目的に古くなった食堂をリニューアルしました。以前は昼食時に席が足りなくなるなどの問題があったため、54席から74席に増席し、カウンター席やLAN付きスペースを設置しました。食事だけではなく、休憩やちょっとした仕事でもできると従業員にも好評で、リフレッシュできてストレス軽減にもなる、明るく快適で自然と人が集まるコミュニケーションスペースに生まれ変わりました。



人が集まる食堂へリニューアル

◆ 製造リーダーマネジメント研修の実施

将来を担うリーダー候補生として、各拠点から製造部の中堅社員を12名選抜し、マネジメント研修を行いました。この研修では、チームで協力して目標を達成するためのワーキングをはじめ、部下育成で気を付けるべきハラスメントやコンプライアンスなどの法令知識や利益を生み出す経理知識を学ぶことができます。各拠点間の情報交換も活発で、新たな気づきや学びを得ることができ、組織づくりの大切さを学ぶ研修となっています。



製造リーダーマネジメント研修

多様性を尊重した働き方の推進

◆ 製造部ダイバーシティプロジェクトを実施

2030年のダイバーシティ雇用率30%達成に向けた取り組みの一環として、製造部門の女性従業員を集め、ダイバーシティへの理解を深めるプロジェクトを実施しました。女性を中心に“新たな視点での現場改善”を目標に各拠点の問題点や課題などを洗い出し、改善に向けた取り組みを行っています。全国から女性従業員が集まることで情報共有も図ることができました。この活動を通じて、製造部門で女性が活躍する機会が増えていくことをめざしています。



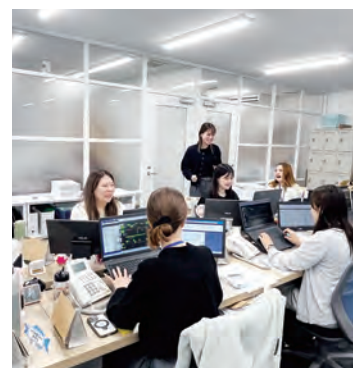
プロジェクトの様子

◆ 「なら女性活躍推進倶楽部」への登録

大阪事業所では、奈良県が実施している、男性も女性も働きがいを感じ、いきいきと働き続けることができる職場づくりに向けた取り組みである「なら女性活躍推進倶楽部」に参画しました。企業登録を行ったことで、奈良県の公式ホームページ内で企業情報が紹介されることに加え、推進倶楽部主催の女性の再就職フェアへの参加や会員企業との交流を図ることができるなど、大阪事業所の女性活躍を推進する取り組みの一助となっています。



なら女性活躍推進倶楽部 ロゴマーク



大阪事業所での女性活躍の様子

製品の品質向上と安全性の確保

◆ 九州事業所、仙台事業所で FSSC22000 認証を追加取得

当社は、食品安全マネジメントシステムを構築・運用することで、より安心・安全な製品をお客様にお届けするため、食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC22000認証の取得を進めています。すでに取得済みの東京、大阪、名古屋、埼玉事業所に続いて、2024年度は、九州と仙台事業所で認証を取得しました。2025年度にはまだ認証を持っていない神奈川、岐阜事業所での取得を計画しており、これにより全事業所にて認証取得となります。



食品容器の例



FSSC22000認定事業所での作業の様子



地域社会との調和と社会貢献活動

◆ カラー段ボールを地域の教育・福祉施設に無料配布

埼玉事業所では、使用しなくなったカラー段ボールを地域の保育園や幼稚園、児童施設などで役立てていただこうと、市の社会福祉協議会を通じて配布する譲渡会を開催しています。保育園や児童施設などで工作の授業や施設内の装飾などに活用いただいています。会を重ねるごとに受け渡し方法の改善も図っており、よりスムーズな譲渡を実現することで、今後さらに多くの施設へ配布していく予定です。



譲渡会でカラー段ボールを諸団体に配布

◆ 地元中学生に就業体験の機会を提供

岐阜事業所では、地域貢献の一環として、年に一度、近隣中学校から数名の生徒を招き、就業体験の機会を提供しています。当日は、工場で稼働する製造機械の見学のほか、実際に箱詰め作業を体験してもらうことで、働く大変さややりがいを感じてもらえるよう工夫を凝らしています。また、従業員にとっても、より良い製品を届けたいという思いを参加者に伝えることで、働く意義や安全な職場づくりの大切さを再確認する機会となっています。



地元中学生に就業体験の提供

◆ 「佐賀県生理用品プロジェクト2025」へ協賛

九州事業所では、女性の不安に寄り添い支援を行う「佐賀県生理用品プロジェクト2025」の趣旨に賛同し、協賛しています。このプロジェクトは、佐賀県内の避難所や大学、高校に生理用品を提供することで、被災者や学生が安心して過ごせる環境を整えることをめざした取り組みです。当社は、女子学生の多い佐賀県内の大学のデザイン学部と女子高等学校に生理用品を寄付しました。



寄付先の学生から感謝のメッセージ

社会関連データ

従業員数



2,012名

男性 1,596名
女性 416名

平均年齢



男性 38.6歳
女性 32.5歳

平均勤続年数



男性 13年1ヵ月
女性 6年9ヵ月

管理職比率



男性 98.6%
女性 1.4%

新卒採用数



男性 35名
女性 21名

中途採用数



男性 155名
女性 52名

ダイバーシティ雇用率



21.5%

※外国人技能実習生を含む場合は38.85%です。

有給休暇取得率



63.6%

育休取得者数



男性 21名
女性 12名



企業統治に関わる活動

内部統制と透明性の確保

◆ アスエネESG※のプラチナアワードを初受賞

当社はアスエネ株式会社が提供するESG評価クラウドサービス「アスエネESG」の2024年度評価において、評価区分が上位1%以上の企業にのみ与えられるプラチナアワードを受賞しました。前年度の結果を踏まえ改善活動に取り組んだ点や、その姿勢を高く評価していただきました。今後も非財務分野における企業価値の向上をめざすべく、第三者評価を活用しながらESG分野の課題解決に取り組んでいきます。

※アスエネESG：企業のESG（環境・社会・ガバナンス）経営の取り組みを可視化できる評価プラットフォーム



アスエネESGプラチナアワード

◆ ESG関連研修の実施

当社では、多様化する社会に適應できる人材を育成するため、ESGに関連する各種研修を実施しています。従業員のサステナビリティに対する知識を深め、組織全体で持続可能なビジネスの実践を推進する風土の醸成につなげます。

2024年度に実施した主な研修会

- ▶ 製造リーダー研修
- ▶ 製造コーチングスキルアップ研修
- ▶ アンコンシャスバイアス研修
- ▶ リーダー研修（神奈川事業所）
- ▶ イクボス、ハラスメント研修（仙台事業所）

コンプライアンスの推進

◆ 労働環境監査「クラウンスタンダード」の実施

サプライチェーン全体における労働環境の透明性確保に対する要求が高まるなか、外部審査機関による労働環境監査に対応する機会が増えてきました。当社では2022年度より社内監査「クラウンスタンダード」を開始し、外部監査に適切な対応を行うための体制を整えています。2024年度は、仙台事業所で実施し、工場監査と書類監査を通じて労働関連法令の遵守状況および従業員の安全や健康を守るための措置を講じているか確認を行いました。



労働環境監査クラウンスタンダードの実施

リスク管理

◆ 事業リスクの低減を目的とした講習を実施

当社は、製造装置のトラブルなど事業機会の逸失につながるリスクの低減を図るため、製造部の管理職およびリーダーを対象に機械制御に関する講習を実施しています。2024年度の講習では、制御の仕組みを学び、プログラム作成と動作確認を行うことで、知識の向上と技術の定着を図りました。研修を通じて自らトラブルの原因追及することを可能とし、停止時間の短縮や修繕費の軽減につなげていきます。



機械制御に関する講習会の実施（シーケンサープログラム講習）

◆ 災害時対応の標準化と防災管理体制の整備

近年、気候変動を起因とした災害が増えていることや、大地震発生切迫性が高まってきたことから、避難訓練の強化と拠点間における災害時対応の標準化を図りました。また、災害発生時の対処方法をまとめた防災ポケットガイドを全従業員に配布するなど、防災管理体制を整えました。2025年度以降は、こうした取り組みをさらに発展させ、BCP（事業継続計画）の構築につなげていきます。



避難訓練の様子

会社概要

商号	株式会社クラウン・パッケージ
本社所在地	〒485-8654 愛知県小牧市小針三丁目67番地
創立	1962年6月15日
資本金	1億円
従業員数	2,417名(グループ全体) 2,012名(単体)※2025年3月末時点
関連会社	株式会社 包む クラウンパッケージ販売 株式会社 株式会社 コダマサービス 株式会社 ヒューマンエコーズ 株式会社 オカモト紙工 Nextgreen Crowning Package Pulp Molding Sdn. Bhd.

Webサイトのご案内

サステナビリティに関する詳細情報につきましては、
 当社Webサイトをご覧ください。
<https://www.crown-grp.co.jp/sustainability/>



表紙について

Designer

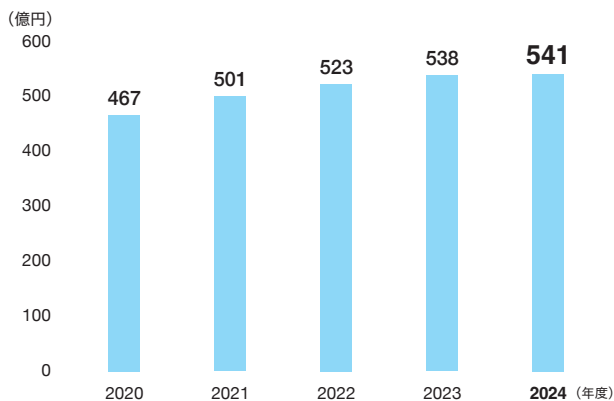
名古屋事業所
 森 千夏(MORI CHINATSU)

Design Concept

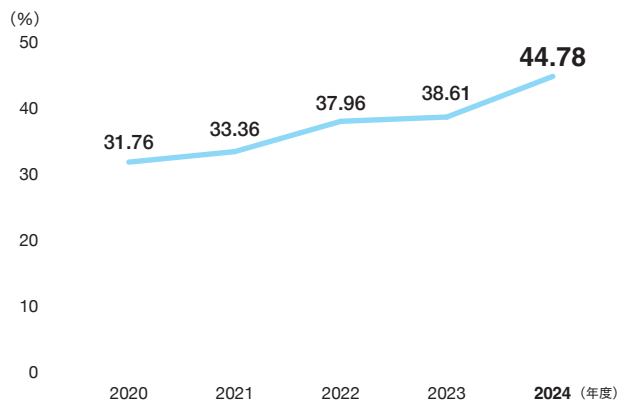
当社の仕事と環境や人々が繋がり、
 明るい未来へ広がるイメージを
 1本のラインに込めて描きました。



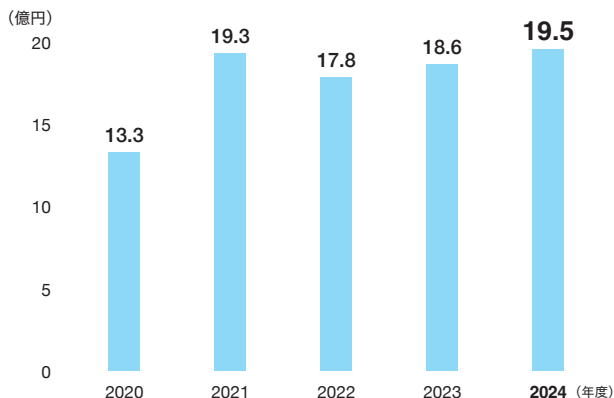
売上高



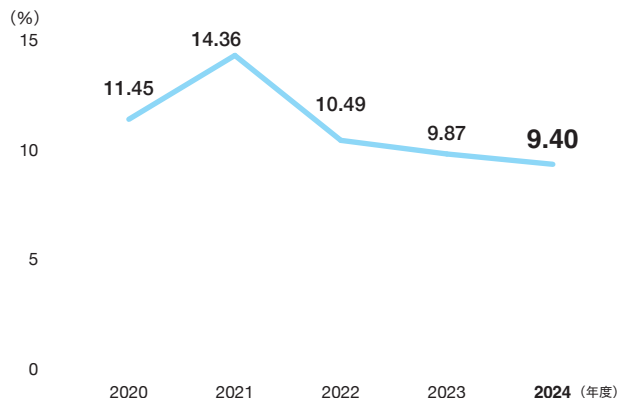
自己資本比率



税引後当期純利益



ROE(自己資本利益率)



責任ある森林管理
 のマーク
 FSC® C127777

クラウン・パッケージでは世界に責任ある森林
 管理を広めるための森林認証制度であるFSC®
 認証を全事業所に取得しています。



クラウン・パッケージは、海と日本
 PROJECT推進パートナーです。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より
 多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見や
 すいユニバーサルデザインフォントを採用しています。